



**駅に降り立ち公衆トイレもない町…
住みたいと思えますか**

答弁

**トイレ設置のための協議を
していきたい**

議員
水海道駅前に設置されていた公衆トイレの取壊しに至るまでの経緯について説明を求めます。

産業振興部長

公衆トイレは平成29年当時、建設から約43年が経過し、老朽化が進んでおり、危険であると判断した。調査の結果利用者は多い日で107人であり、関東鉄道㈱と協議をした結果、トイレを解体しても影響はないとの結論に至り、同年に取壊しを決定し、翌30年9月に解体した。

議員

これから人口増加を目指すためには、都心から来てもらう必要があるが、駅前にトイレがないという都市は珍しい。当市の職員は、マイカー通勤者が多く、電車を利用せず通勤が可能かため、認識が不足しているのではないかと。都内に毎日通勤、通学する人にとっては駅のトイレは必要不可欠である。トイレの設置当時、関東鉄道㈱は無償で土

遠藤 章江 議員

市長
今後関東鉄道㈱と協議をしていきたい。

議員

浸水しない安全な場所に新たな住宅地を形成し、市内7つの駅と住宅地をしっかりと結ぶ公共交通網の整備を行い、都心から人を呼びこみ人口を増やすため、駅の重要性を考えた街づくりをすれば、まだまだ発展の余地があると思う。市民の広場には土日とイベントの時しか使用しないエアコン付のトイレがある。駅前のトイレは少ないとはいえ、1日100人以上の利用がある。豊田城のような、金のシャチホコをのせたインスタ映えする、話題性のあるトイレをぜひともつくっていただきたい。

坂野 茂実 議員



**空き家対策の取組と
人口増の策について問う**

答弁

民間企業の資金力と技術力の活用も視野に入れ取り組んでいく

議員
空き家の現状と取組について伺う。

都市建設部長

現在236件の登録があり、うち2件が特定空き家である。平成30年に常総市空家等対策計画を策定し、発生抑制、解消、利活用等に取り組んでいる。

議員

空き家の利活用についての取組を伺う。

都市建設部長

常総市空家等バンク実施要項を制定し取り組んでいるが、登録数が少ない上、建物の老朽化により多額の改修費を要する等の問題がある。今後、市外居住の所有者への周知や、空き家の取得、修繕や賃貸借に係る費用の助成等を検討していく。

議員

「マイホーム借り上げ制度」とはどのようなものか。

都市計画課長

一般社団法人移住・住みかえ

議員
空き家対策と併せて人口増が望める計画や策はあるか。

都市建設部長

民間企業資金等を活用し、子育て世帯の人口を増やす対策等を早急に取り組んでいく。

議員

境町では市外からの若い世代の移住・定住に成功している。町が一戸建を建設し、20年で無償譲渡や安価な賃料で集合住宅に入居できる等の様々な施策を実施している。集合住宅は3階建3棟を建設し、55世帯が入居済みで満室。更に、現在2棟を建築中とのこと。当市には有効利用が可能な市有地があり、負担が少ない官民協同のPFI等の手法を用いて調査・研究を進め、10年、20年先を見据え、多くの方が当市に目を向けてくれる策を進めるべきと考えます。